

担当者	松下 洋一
題目	地球温暖化を環境科学から考える
学期	2026年度 第1クォーター
曜日・時間	水・15:30-17:00
授業形式	対面
科目の概要	
<p>地球温暖化による気候変動が起こす異常気象（自然災害の激甚化など）が、深刻なグローバル問題になっています。本講座の前半では、温暖化ガス増加による気温上昇の仕組みとそれに伴う気候変動の現状・未来予測および気象変動対策について学習します。</p> <p>日本は温暖化防止のため「2050年までにカーボンニュートラル(CN、温暖化ガス排出量をゼロにすること)を目指す」と宣言しています。実現するには、我が国のエネルギーミックス(構成割合)の変更が必須です。講座の後半で各CNエネルギーの特徴を説明しますので、受講者の皆さんそれぞれが「ベストミックスはどうあるべきか」を考えてみましょう。</p>	
学習目標	
(1)温暖化ガス増加で気候変動が起こる仕組みを理解する。	
授業計画	
第1回	地球での生命の誕生と地球大気環境の変遷
第2回	温暖化の基礎知識：温暖化が起こる仕組みおよび温暖化が地球システムに及ぼす影響
第3回	温暖化ガスによる気温・海水温上昇の現状と近未来予測
第4回	気候変動による異常気象の脅威－自然災害の激甚化、氷河融解、海面上昇など
第5回	気候変動の「緩和」方策の概要
第6回	カーボンニュートラルを目指すエネルギーミックスの考え方
第7回	気候変動の「適応」方策の概要
第8回	講義のまとめと「日本のエネルギーのベストミックス」について小論文作成・ディスカッション
主な対象者	大学生、社会人
テキスト	講義資料を講座の初回開催時に配布します。
参考書・資料	講義の参考書籍・資料は講義資料中に記載しています。
キーワード	温暖化ガス、地球温暖化、気候変動、カーボンニュートラル、エネルギーミックス、
備考	